

7/22開催 豊郷町地域福祉住民ワークショップまとめ

凡例：気になるところ ■  
 良いところ ■  
 今後の取り組み ■

資料：1 - C

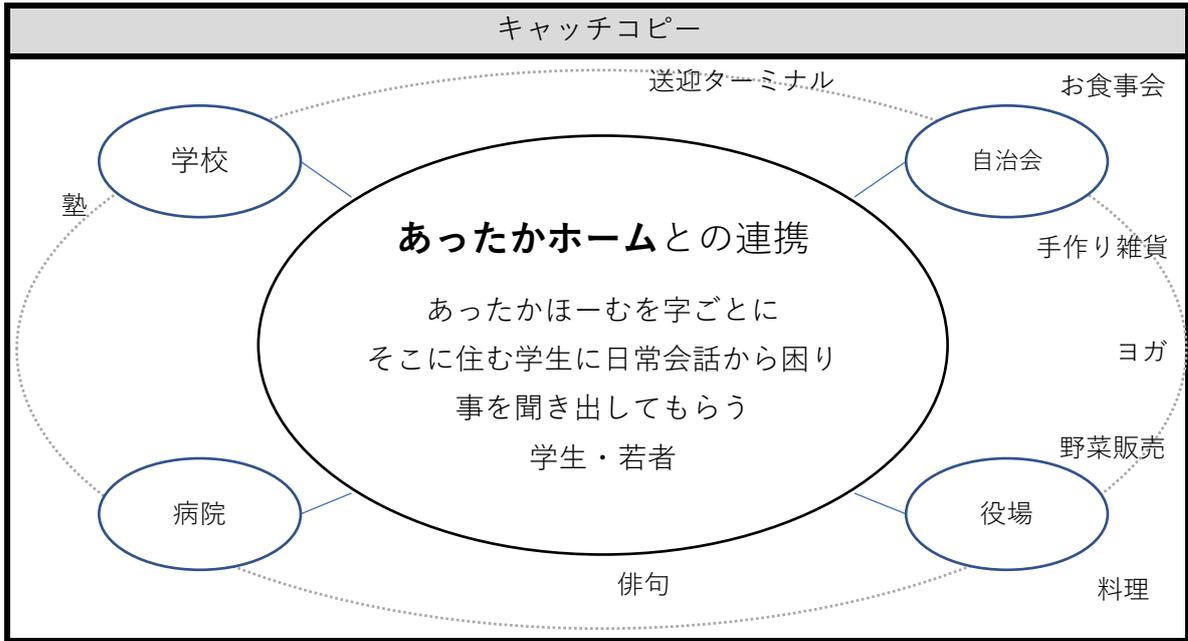
【グループA】若者世代  
 グループワーク①

テーマ	内容
生活の利便性	■ コンパクトシティとして暮らすにあたり施設、設備が充実しているところ（医療機関商業施設等）
	■ 県内で最も小さいコンパクトさ。 1日で町全体まわれる
	■ 必要最低限の施設がある
	■ 子育てしやすい環境
	■ 18歳未満の医療費無料
	■ 生活に困らないライフライン
素敵な町なみ	■ 歴史的まちなみが残っている
	■ 川と土手があるのはよい
	■ 一軒の面積が大きい
協力意識	■ よそ者でも抵抗なく受け入れてくれる
	■ 若者が受け入れてもらえやすい
	■ 学生との協力
	■ 若者を応援してくれる人が多い!!
高齢者が元気!!	■ 老人が元気（に見える）
	■ 高齢者の方々が生き生きしている
字ごとのコミュニティ	■ 近所付き合いがある
	■ 字ごとに個性がある
	■ 小さい町なので人と人との距離が近い （あいさつをしたら返してくれる etc…）
	■ 祭りなどの行事が多い！継続している！
	■ 字ごとの花だんをお手入れする取りくみ
	■ 夜廻りをちゃんとしている
	■ 人なつっこい子どもたち
あったかほーむ	■ あったかほーむが継続している
	■ 最近シェアハウスに新しい顔ぶれ
	■ 柔軟に使ってもらえる場所がある
その他	■ きっかけがあれば意欲的・協力的な方が多い
危機感が無い？	■ 他の地域（国内外）での取り組みの情報収集

災害	■ 災害が起こった時の避難場所や経路の認知度
	■ 川がどれくらいで氾濫して、どれくらいで避難したらよいか、イマイチ知らない
情報不足	■ 地域の課題を知る機会、方法が分からない
	■ 外国人は一体どこに住んでいるのか
	■ 高齢者の方が何に困っているか（体の状態など）まで把握できていない
	■ 今ある色々な活動を町民がどのくらい知っているのか
交流が難しい世代	■ 閉じているところは閉じている
	■ 中学生、高校生との関わり
移動手段	■ 交通の便が良くない（バスの本数）
	■ 高齢者の移動手段
	■ どこに行くにも車必須
	■ 移動が不便
その他	■ 働く場
	■ 100軒以上の空家
	■ 新幹線の防音
	■ 公園（子どもが遊べて活用できる）が少ない。あってもにぎわってない

#### グループワーク②

テーマ	内容
町並	■ 制度として何かしらの統一性
	■ まちの魅力を町民が知る シビックプライド
災害	■ 災害マップ etc が他のとつつきやすいモノと絡められたら
交通	■ すまいるたうんばす
	■ イスが多いバス
	■ ジブニー的な乗り合いがあればなあ
	■ あいのりタクシー
	■ レンタルサイクル
交流・情報	■ 情報伝達手段充実。広報紙をもっと読んでもらえるように
	■ 町民向けのアプリ
	■ 町内のいたるところにベンチを設置
	■ 日常のコミュニケーションやちょっとしたおせっかいを大切に、若者世代も自ら知る努力をする
	■ 日常的に病院等で利用する旨の申請→審査→その利用者にサービス提供



凡例：気になるところ ■  
 良いところ ■  
 今後の取り組み ■

【グループB】子育て世代  
 グループワーク①

住  
 み  
 よ  
 い  
 ま  
 ち

テーマ	内容
生活環境、利便性がよい	■ 小さなまちの中に生活しやすい環境(買物、銀行、病院)
	■ 買い物が便利(近いところに、色々そろっている)
	■ 病院が近い
	■ 買物が近い
	■ 商業施設も近くにあり、住みやすいのでは
	■ 人口が増えている？家が増えている？安定している？
	■ 高齢者などが住みやすい町(町内循環バス、病院、開業医、施設、事業所など)
子育ての支援のよいところ	■ 給食費が無料になった
	■ 中学生まで給食タダ
	■ 子育てに充実している
	■ 学校にはクーラー入っているところ
医療環境がよい	■ 医療費の助成が充実している
	■ 医療費がかからない(高校世代まで)
	■ 高校生まで医療費タダ
	■ 福祉施設が整っている(他市町と比べて)
	■ 総合病院があり医療環境が良い
自然環境のよいところ	■ 自然もあってほどよい田舎
	■ 自然が多く子育てに環境が良い
	■ 自然が多い
	■ 今のところ警報等が出にくい(災害が発生しにくい?)
	■ 農業が盛ん
地域のつながりがよい	■ 三世代、四世代同居の多さ
	■ 古き良き伝統がある。江川音頭、近江商人の教え
	■ 地域の人と顔見知り
	■ 地域を支える住民。草刈り、川そうじ

気になるところ

生活環境・利便性	■ 道が狭い
	■ 歩道が少ない
	■ 生活に車が必要
	■ 空家が多い(増えてきた)
	■ 若者の流出
	■ 公共交通機関が少ない
	■ 町内企業が少なく(働く所が少ない)
子育て支援	■ 中学生をチャリ通にしてほしい
	■ 中学の給食味の薄さ
	■ 中学生の学力をもう少しがんばれば
	■ 日栄小学校のグラウンドの草多すぎ
	■ 子どもの歳に応じた遊具が、公園にあまりない
医療環境	■ 小児科医の在中がなく入院は他院
自然環境	■ 農業の後継者が減少。ファームに委託が多い
	■ 農業者の高齢化
地域のつながり	■ 近所付き合いが減ってきた
	■ 老人が多くなってきた
	■ 少子高齢化
	■ 高齢化率(今後)

グループワーク②

内容
■ 地域のみりょくPR
■ 農業のみりょくPR
■ 企業の誘致
■ 農家の処遇向上
■ 漢検、英検必須
■ 公営塾
■ 年齢に応じた公園の整備。P有
■ それぞれの組織づくり。教育、福祉、地域
■ (バス)自動運転の実用化
■ 地域で空家活用
■ 道を広げる

キャッチコピー

住民の力 + 役所の考え  
 〔気持ちか〕若者パワーがっちりタウン

7/22開催 豊郷町地域福祉住民ワークショップまとめ

凡例：気になるところ ■  
 良いところ ■  
 今後の取り組み ■

【グループC】 シニア世代、障がいのある方

グループワーク①

テーマ	内容
地域のまとまりと 気になるところ  世代ごとの役割分担が あれば	■ 小さい町なので互いの顔がみえる
	■ 郡部なので、皆な、ゆっくりとのんびりしており、どこへいっても知り合いになれる
	■ 地域が小さいのでまとまりやすい
	■ 高齢者が集まる場所がある（あったかほ一む）
	■ 活発に活動している方が多い。知っている人が多い
	■ 字 各家との交流の場が少ない
	■ 各字毎の活動（運動会などの行事・婦人会などの参加）などがなくなってきている
	■ 色んな行事を計画してくださるが、参加者が少ない気がする
	■ 老人会、日赤、更女等、会への参加会員になる人が少なくなってきた
	■ 若い人のボランティアへの参加の仕方がかわってきたと思います
	■ 分館活動が低迷（時代の変化）
	■ 老人だけのお家や一人住まいの方が増えてきている
行政と住民	■ 行政関係者と住民の距離が近い
■ 広報で、それぞれの団体や、町行事など、知らせているのが良い	
■ 地域住民の関係性や慣習が強く、住みづらい点もある	
■ 住民のニーズ応えるためのツールが見えない	
災害が少ないけど、 心配も（熱中症も）	■ 災害が少ない
■ 災害時に、自分で避難できない人がいる	
道路が危ない	■ 通行時間帯で、子供の目の前での車輛事故、子供達への悪い意味での勉強では有れ非常に交通安全の意識を高めるに至りました
	■ 中山道の道路が狭い

福祉・教育が充実	■ 給食費も中学校までいらなくなったのでよい
	■ 福祉施設が充実している
	■ 中学校まで医療費が無料なのがよい
	■ 豊郷病院がある
	■ 教育面の充実
	■ 教育環境がよい
	■ 高齢者、子どもへの福祉の手当てが厚い (給食費、医療費の無償化など)
	■ ベッドタウン化しつつ有りますが活気ある地域社会の受け入れがスムーズに行われている町の行く末を楽しみにしたい。(少子化防止への行動について)
	■ 学校教育の進歩の一つとして子ども達の小動物に対する好意的な見方がとてもたのしく感じられる
	■ 学校での荒れた空気が数年前迄見られたが最近では暖かい流れが続いているのが嬉しいです。
	■ 医療機関が少ない
■ 福祉、医療、施設と行政のネットワークが充実していない	
観光PRをもっと！	■ 観光PRをもっと進めて豊郷の良さを出してほしい
買い物が便利	■ スーパー大型店が小さな町ながらあり買い物がしやすい
	■ スーパー等買い物に便利
	■ 大きなスーパーがある
	■ 大型スーパーが出来たが故の犯罪多発で警察官の方が正直悲鳴を上げておられる
交通の便がよくない	■ 交通の便が悪いか？マイカーがないと
	■ スマートインター（湖東三山）～中山道下枝豊会館の前への道路が狭く、大型バスなどの通行が不便である

グループワーク②

テーマ	内容
地域支え合いの拠点と 仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の互助システムの確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもやお年寄りの見守り</li> <li>・町からのお知らせ等の周知</li> <li>・お買い物、移動のお手伝い 等</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域社会活動を活発にするための拠点を作り動ける人を確立する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区民台帳のプライバシーを守った上での活用 (災害時、行政からのお知らせ)</li> </ul>
声のていねいな キャッチボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者ならずとも各世代の役割と活動方法を色々の活動段階で意見を収約する場を利用する (アンケートを多く集める)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車社会での若者の社会に対する意見を出す場が少ない。字での総出の際に発言の場及び町が書類的にまとめる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者にはていねいに説明してほしい</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個人毎がアンテナをはって、興味を持てる様に地域や団体、行政が連携を密にする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一人ひとりに情報がしっかり届いて、わかるように。</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療、福祉、施設等の関係者が話し合う場をつくる (ネットワーク化)</li> </ul>
若い人が活動しやすい 拠点の仕組みづくり (専門分野と連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 役場の職員が元気に活動すること！若い人向けの活動から色々な取組をしてもらう</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若い人が活躍できる、情報発信できるようコーディネートする (人材や仕組み) →民間を活用する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若い人にSNSをしてもらう</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 良いことは、大げさにアピールしていく。SNSなど、インスタなど</li> </ul>

キャッチコピー

各世代が活気ある

豊かな郷 (ゆたかなまち) 作り

## 7/22開催 豊郷町地域福祉住民ワークショップまとめ

凡例：気になるところ ■

良いところ ■

今後の取り組み ■

【グループD】シニア世代、障がいのある方の保護者

グループワーク①

テーマ	内容
共助	■ 仲が良い
	■ お年よりが元気！
	■ 県内の町では最も面積の小さい所ではあるが、よくまとまっていると思う。
安全	■ 災害が少ない(恵まれている)
利便性	■ 買い物などベンリ！
	■ 病院がある
	■ 生活しやすい 買い物、病院
行政サービス	■ 小中学生の給食費が無料となった。県に先がけて療育手帳、Bの方も医療費が無料となった。精神2級以上の方も ■ 行政対応がはやい
地域交通	■ 幹線道路の通過地域で、自動車の量が多過ぎるように思う。特に中山道は危険と思われる(通学路確保できているか?)
	■ スマイルタウンバスはあるが町外とのつながりがむずかしい。例えば河瀬駅
生活環境	■ 川にゴミが沢山捨ててある。道路ぞいの田んぼも ■ 地域資源の生かしかた。人、物 (機会づくり)
教育環境	■ 子供達の学力は？
	■ 町内に、量販店やパチンコ店などが多く、刺激が多すぎて住むものには、どうかと思う。
地域間交流	■ 地域交流 ■ 地域間の交流に断絶あり ■ ニュータウンと旧の住人(地域)との関係 ■ 地域の自治会には入っている人が少ない
団体虚弱化	■ 団体としてのかかわり方
	■ 団体活動の〇〇〇等団体の減少
空家対策	■ 空き家プロジェクト(活用について)
	■ 空き家が多い
	■ 老人の住いが多くなった

障がい 介護 子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 軽度の子が行ける場所がない</li> <li>■ 高齢者福祉</li> <li>障がい者</li> <li>児童福祉</li> </ul> <p style="margin-left: 150px;">} 対応の施策に温度差</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重度行動障がい者をあずける体制がない</li> <li>■ 介護 特に認知症(ハイカイ)</li> </ul>
行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 庁舎の建替</li> <li>■ 役場の相談窓口がわかりにくい</li> </ul>

グループワーク②

テーマ	内容
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 健康予防対策の実施</li> </ul>
空家活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 老人対策に空家活用</li> <li>■ 子どもの貧困対策等の活用</li> </ul>
道路交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通安全にはまず制限速度を守らせる！</li> <li>■ 幹線道路にバイパスを早急に整備する必要あり</li> </ul>
団体間のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1つの事業を各団体が協力して実施する</li> </ul>
住民の声をきく	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政に望む。住民の声を聞く方法考えてほしい(公聴)</li> </ul>
新庁舎でサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 庁舎の改築。住民が利用しやすい窓口設置</li> <li>■ 新庁舎でサービス向上</li> <li>■ 個人情報に配慮した相談対応</li> <li>■ 行政アプリ 情報配信 (災害)(発信)</li> <li>■ 総合相談窓口の設置</li> <li>■ 新庁舎建設の時、相談室かせめてパーテーションを造ってほしい</li> </ul>
地域活動・リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域リーダーの育成</li> <li>■ 1人1つ何かグループに入る</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 親・子の遊び場づくり</li> </ul>

キャッチコピー

<めざす目標>

- 1、新庁舎で住民サービス向上
- 2、活用団体の連携強化
- 3、住民の声をきく
- 4、空家活用
- 5、安全な道路交通網
- 6、住民の健康策
- 7、地域活動リーダーの育成

## 住民ワークショップからの課題の要点

### 【グループA】若者世代

- 災害時の避難場所や避難経路の周知が不十分
- 高齢者や外国人の方が何に困っているのか知らない⇒交流がない、機会がない
- 地域交通の利便性が低い⇒バスの便が悪い
- 働く場が少ない
- 子供の遊ぶ場がない⇒公園不足、利用されていない
- 空き家が100件ある⇒有効活用が必要

〈提案・提言〉資料参照

◇キャッチコピー「あったかホームとの連携」学生・若者

### 【グループB】子育て世代

- 道が狭い、歩道がない
- 生活するのに車が必要⇒公共交通の整備
- 若者の町外流出⇒定住化促進
- 町内に企業が少くない⇒就労の場づくり
- 医療・小児科がない
- 子供の年齢に応じた遊具がない⇒公園整備
- 農業の高齢化、後継者不足（ファーム委託が多い）

〈提案・提言〉資料参照

◇キャッチコピー「若者パワーがっちりタウン」

住民 + 役所の考え（協働）

### 【グループC】シニア世代、障がいのある方

- 住民同士の（各家）交流の機会が少ない
- 地域の行事が少なくなっている
- 行事への参加者が減っている
- 老人会、日赤、互助会等の参加者が減っている
- 一人暮らし高齢者が増えている
- 災害時に避難できない人がいる
- 交通安全意識が低い
- 福祉、医療、施設のネットワークの充実が必要

〈提案・提言〉資料参照

◇各世代が活気ある豊かな郷づくり

### 【グループD】シニア世代、障がいのある方の保護者

- 幹線道路の通過交通が多く危険
- すまいるたうんばすの利便性（駅との連絡がわるい）
- 河川へのごみ廃棄が目立つ
- 町内の量販店やパチンコ店が多く刺激が強すぎる
- 新旧住民の交流の機会が少ない
- 軽度の障がい者の参加できる場がない
- 重度行動障害者を預ける施設がない
- 認知症対応が必要
- 空き家が多く、活用方策が必要
- 役場庁舎の建て替え
- 相談室のパーティションが必要

〈提案・提言〉資料参照